



## 2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月11日

上場会社名 株式会社LibWork 上場取引所 東・福  
 コード番号 1431 URL https://www.libwork.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀬口 力  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 難家 嘉之 (TEL) 0968 (44) 3559  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 2023年6月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年6月期第3四半期の連結業績(2022年7月1日~2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	9,269	7.7	61	△66.5	69	△65.9	10	△90.4
2022年6月期第3四半期	8,607	47.0	182	81.8	204	27.3	105	48.3

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 10百万円(△%) 2022年6月期第3四半期 105百万円(48.3%)  
 90.4

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年6月期第3四半期	0	46	—	—
2022年6月期第3四半期	4	71	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	9,530		3,187		33.4	
2022年6月期	7,620		3,400		44.6	

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 3,187百万円 2022年6月期 3,400百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年6月期	1.40	1.40	1.50	1.50	5.80	
2023年6月期	1.60	1.60	1.60			
2023年6月期(予想)				1.60	6.40	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	14,200	3.2	266	△60.1	280	△60.4	155	△65.1	7	01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期3Q	23,292,040株	2022年6月期	23,292,040株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	1,189,173株	2022年6月期	1,049,973株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期3Q	22,130,402株	2022年6月期3Q	22,441,714株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な原材料高騰による物価上昇の影響により、先行き不透明な状況が続いているものの、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和により、個人消費をはじめとした社会経済活動に正常化の動きが進みました。景気は緩やかな持ち直しが期待されます。

当社が属する戸建住宅業界におきましては、弱含みで推移しております。国土交通省公表の全国の新設住宅着工戸数(持家)は、2023年1月度は前年同月比で8.3%減、同年2月度は前年同月比で4.6%減、同年3月度は前年同月比で13.6%減となりました。同様に当社の主要販売エリアとなる九州地区では、2023年1月度は前年同月比で0.8%増、同年2月度は前年同月比で0.2%減、同年3月度は前年同月比で8.5%減となりました。

このような環境の中、HOUSE TECH COMPANYである当社グループは、デジタルマーケティング集客が前年同期比132%と堅調に推移しました。またメタバースを活用した新卒採用向け会社説明会を実施し、多方面かつ多数の参加を得ました。

異業種コラボレーション商品による集客も好調であります。「Afternoon Tea HOUSE」モデルハウスでは、新たにインスタグラマーと連携した集客企画を実施することで、多数の情報拡散と新規来場を実現しました。このほか、ライフスタイルブランドのniko and ... とコラボレーションした「ink」モデルハウスは2022年末に大分県最大の複合商業施設に出店しましたが、こちらも安定した多数の集客に繋がっております。この異業種とのアライアンスは顧客層の拡大に貢献し、かつ効率的な集客に成功しております。これを背景とし、新たなコラボレーションとして再春館製薬所と共同商品開発契約を締結しました。彼らがこれまで培ってきた知見やノウハウ、大学などとの研究機関のネットワークを活用し、得られた科学的根拠に基づいた新商品を共同開発し、販売する計画です。そのほか、YouTubeチャンネル「Lib Work ch」は、登録者数5万人超、視聴回数も2,000万回を超え、戸建住宅業界で影響力のあるメディアへと成長しました。これらの施策を通して、受注棟数は前年同期比101%、受注金額は前年同期比119%となりました。

一方で、建築資材の値上げは継続しております。この厳しい環境のもと競争の激化に繋がっているほか、原価上昇前にお客様と契約締結済みの大型分譲地における受注残を多く抱えていたことから、この原価上昇が利益を圧迫することとなりました。また中長期的な企業成長を鑑み、人材投資は積極的におこなっているため、人件費は前年同期比136%と上昇しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は9,269,173千円(前年同期比7.7%増)、営業利益61,179千円(前年同期比66.5%減)、経常利益69,627千円(前年同期比65.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益10,168千円(前年同期比90.4%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は9,530,061千円となり、前連結会計年度末残高7,620,581千円に対し、1,909,479千円増加しました。主な内容は、未成工事支出金、販売用不動産及び仕掛販売用不動産が増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は6,342,373千円となり、前連結会計年度末残高4,220,078千円に対し、2,122,294千円増加しました。主な要因は、短期借入金及び未成工事受入金が増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,187,688千円となり、前連結会計年度末残高3,400,502千円に対し、212,814千円減少しました。主な要因は、配当金の支払及び、従業員向け株式交付信託における自社株式の追加取得による自己株式の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2022年11月10日に公表した2023年6月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料を公表した時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,413,858	1,714,514
完成工事未収入金	18,083	19,817
売掛金	1,490	805
未成工事支出金	462,479	918,277
販売用不動産	1,313,856	1,995,533
仕掛販売用不動産	1,967,220	3,104,425
原材料及び貯蔵品	15,247	15,366
その他	252,475	446,215
流動資産合計	6,444,713	8,214,955
固定資産		
有形固定資産	782,082	904,998
無形固定資産		
のれん	48,284	37,141
その他	49,839	48,458
無形固定資産合計	98,123	85,599
投資その他の資産	295,662	324,508
固定資産合計	1,175,868	1,315,105
資産合計	7,620,581	9,530,061
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	839,959	881,075
短期借入金	1,123,050	2,670,450
1年内償還予定の社債	100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	109,000	172,332
未払法人税等	116,383	9,830
未成工事受入金	507,366	1,086,964
賞与引当金	-	22,571
株主優待引当金	77,720	81,050
資産除去債務	4,900	1,640
その他	534,905	591,607
流動負債合計	3,413,284	5,517,520
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	268,500	250,363
役員退職慰労引当金	95,205	97,885
完成工事補償引当金	64,972	71,191
株式給付引当金	32,888	41,823
資産除去債務	58,465	67,638
その他	86,762	95,951
固定負債合計	806,794	824,852
負債合計	4,220,078	6,342,373

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,014,773	1,014,773
資本剰余金	901,620	901,620
利益剰余金	1,996,801	1,901,627
自己株式	△512,691	△630,332
株主資本合計	3,400,502	3,187,688
純資産合計	3,400,502	3,187,688
負債純資産合計	7,620,581	9,530,061

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2023年3月31日)
売上高	8,607,016	9,269,173
売上原価	6,522,255	7,053,223
売上総利益	2,084,760	2,215,950
販売費及び一般管理費	1,902,276	2,154,770
営業利益	182,483	61,179
営業外収益		
受取利息	203	190
受取手数料	11,336	13,185
受取保険金	11,263	4,106
解約金収入	5,346	5,941
その他	10,690	11,020
営業外収益合計	38,840	34,445
営業外費用		
支払利息	14,454	16,424
自己株式取得費用	2,155	-
貸倒引当金繰入額	-	8,900
その他	675	673
営業外費用合計	17,284	25,997
経常利益	204,039	69,627
特別利益		
固定資産売却益	26	-
特別利益合計	26	-
特別損失		
固定資産除却損	1,158	0
特別損失合計	1,158	0
税金等調整前四半期純利益	202,907	69,627
法人税、住民税及び事業税	81,508	63,080
法人税等調整額	15,807	△3,622
法人税等合計	97,315	59,458
四半期純利益	105,591	10,168
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,591	10,168

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2023年3月31日)
四半期純利益	105,591	10,168
四半期包括利益	105,591	10,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,591	10,168



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、2022年8月9日開催の取締役会決議に基づき従業員向け株式交付信託への追加信託を行い、信託において当社株式の取得が行われました。信託に残存する当社株式は自己株式として計上しております。この結果、自己株式が117,694千円増加しております。